

【刊夕】日一廿月五

定價部金部一 價定
錢十五行一 點字三十號五 料告廣
治文崎川 入刷印人辦編發行發
五三町橋長町平郡城石縣鳥福
番〇三六話電 社開新日每警常 所行發
社合式株刷印日每警常 所刷印

五十九議會を顧みて (八)

代議士 木村清治

農民の苦しみは、租税公課の滞延納となり、農民の維持を困難ならしめ、引いては役員や教員の給料不拂もしくはその強制寄付となり甚しきは泣く泣く祖先以來の村の廢止を決議するに至つたところもある。かうした地方經濟の悩みは、金融機關を蝕みつゝある。しかも地方金融機關にはこれを堪へ續けてゆく力をもたない。預金や貯金は、減じてゆくばかりである。擔保品の値下りは、貸金の回收を頗る困難ならしめてゐる。己むなく休業するに至つたものは、全國を通じて三十行に近く、その預金總額は一億二三千萬圓のぼつてゐる。また泣いて訴ふる預金者に泣いて諒解を得て、辛ふじて開店休業の状態にある睡眠銀行は二百行の多きに達し、その預金總額は五億圓におよんでゐるのである。

しかも、大藏當局は銀行検査を怠つて数多くの預金者に不測の損失を蒙らしめてゐる上に、黨派根性をもつて銀行監督を二三にしてゐるといふに至つては言語道斷であるといはねばならぬ。こゝに金融關係において注意すべきことは、現内閣が、今期議會において不動産抵當證券法通過せしめこれが取扱ひに關聯して、日本勸業銀行法、法農工銀行法、北海道殖産銀行法も改正したことである。

これによつて、不動産金融融通の途を講じようとするのである。けれども六十億圓にのぼる不動産抵當債務中、持株銀行の貸金に屬するものは、十二億五千餘萬圓で、残りの約五十億圓が、短期かつ高利なるために苦しんでゐるのである。とくに、農村關係の二十六億千三百餘萬圓が、さうである。しかるに、この法律は市制の施行地と借家法施行地と浦和町だけに施行されて、地方農村なり小都會地にはおよばないといふといふ缺點があるうへに、證券の振轉する場合は登記を

省いてゐたり、辨済が出来ないときは三箇月内に必ず競賣されるといふやうに債務者の立ち場を考慮すること極めて薄いものである。従つて、現下の不況を救済するにも役立つこと少なければ、經濟界をして一般的に利用せしめるためにも効果が薄いたゞ普通銀行をして地方の土地建物に對する貸金のこげつきを部分的に助けしむるにすぎない。要するに、現内閣は、國民經濟に立脚した一定の國策を樹てゝゐて、しかるのちに金融制度を改めんとするものではない。この意味において、依然として金融資本家本位の法案であるといはねばならぬ。なほ現内閣は貯蓄銀行法を改正して、國債などの月賦販賣や小口

無擔保貸付などを行はしめたり、無盡業法を改正して營業の主體を株式會社に限定したり資金運用の範圍を擴張せよとしてゐるが、硬塞甚しい庶民金融に對して幾何の助けとなるであらうか。

(續)

文藝募集

無擔保貸付などを行はしめたり、無盡業法を改正して營業の主體を株式會社に限定したり資金運用の範圍を擴張せよとしてゐるが、硬塞甚しい庶民金融に對して幾何の助けとなるであらうか。

(續)

診療時間繰上

受付 午前七時より
 宅診 午前八時より
 ▼但し急患者は此限りに非ず
 平町新川端(釜屋新宅向)
難波 醫院
 醫學博士 難波 睦
 電話五〇二番

内科一般

産婆開業

安全に
 努力します
 御困りの御方には無料で御扱ひ致します
 平町田町五十二番地(安齊外科醫院入口角)
産婆 白石テール
 (呼)電話六五三番

私事三井鑛山株式會社湯本鑛業所に開業致して居りましたが今般左記の所に轉居開業致しました何卒御引立を御願申上げます
 ◎産婦 安全に
 ◎生児 努力します

器灸温ムウチラ

醫學博士 名推獎
 胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器
 福島縣平町五ノ廿八
志賀齒科醫院
 約卸治 福島縣平町白銀町九
 販理療 福島縣平町白銀町九
 賣部部 産婆 關口 悦子
 定價表
 金拾參圓 藥及特効サツ五週間分付
 金拾圓 藥上製桐箱入一揃
 金拾圓 藥上製桐箱入一揃
 (説明書呈)

配 達
 風味 平町三丁目
 本血 鈴木義典
 大勝園
 本場新茶走賣初メ申候 一斤 一圓五十錢
 花壺新入着

吉田眼科病院

平町星町、電話六八八番
 親しみあるサービス
 を以つて知られたる
尼子タクシーへ
 電話六四〇番
 主任 澤正路

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町 電話五一三番
 内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

漁夫の切替期に 値上げ要求形勢

各組合で内々警戒

石城郡各漁では今月一杯で春職を終へ夏職に移るので漁夫の切替期として雇傭関係を契約し直す船主側では不景氣並に一般整理説を振擧げて是を機会に在來の月給より五分安又ははげみ廢止等を要求し漁夫側では鯉鰯漁の漁期を先きに於て反對に値上げを迫る模様であつて月末には切替へ時特有の勞資間の小競合が各所に見らるべく昨年春職當時の漁夫争議に苦い經驗を嘗めた四ヶ倉漁業組合を初め各組合では今から内々警戒してゐる

上小川村の 家庭教場

正式に認可

石城郡上小川村宇戸渡の家庭教場は今回教場の認可を受けたので今迄の無資格教員を廢し有資格教員の採用に決定開校式は廿四日午前九時より行ふ筈である尙同村では同校へ二百圓の寄附をする事にもうし合せたと

豊間港 着工に決定

勸銀より借入

石城郡豊間港修築は工費三万五千圓で來月早々着工すべく豫定してゐたが一部村有志間に三万五千圓中勸銀より二萬圓の低利資金借入

江名統計派遣

石城郡江名町では廿日より開始した須賀川町の縣下各町村統計講習會に河野町長新妻書記金成統計調査員を派遣したと

相續税附加

石城で調査

石城郡各町村では最近内務省が開始した相續税の地方附加實施計劃について調査の成行きを注目してゐるが實行されるとすれば同郡下で年額三萬圓は浮び上がる

平局の電話架設

設備費は従前通りに

平局の本年度普通電話の架設申込みは六月一日から十日まで受理と決した又設備費は土地種別昇格により本來は値上げとなるをせずに従來通り三百五十圓である

家庭教育 振興の良策

縣下校長協議

既報六月四、五兩日小名濱小學校で開催される縣下小學校長會に縣からは「家庭教育振興の良策如何」を提案することに決した

飯野納税表彰 實行組合組織

石城郡飯野村納税實行組合

石城郡飯野村納税實行組合では本月廿三日午後一時から同村小學校に於て實行組

六年度豫算追加更正その他を付議する

平町で 麻雀の大會

優賞は十等迄

平町三丁目大谷時計店裏日本麻雀俱樂部にては來る廿四日正午から麻雀大會を開催し優勝者一等より十等迄に夫々賞品を贈呈する筈であるが會費は五十錢である

平署の 柔剣道選手

第一回豫選

平警察署では廿日午後一時から管内署員柔剣道會を催したが是れは來月中旬福島市紅葉山武徳殿に開催する縣下警察官の武道試合へのした準備であり優勝者は柔道荒井、宮内の兩氏剣道は一等室井正吾、二等大竹次男、三等兒島鶴吉、四等菊地作次郎、甲志田信次の諸氏で代表選手は今後尙數回の豫選の結果決定すると

平町人事

死亡

△材木町五五 當時東京府下南葛飾郡小岩町鈴木儀房(二七)

滿鮮土産談(完)

川崎小鳥

東鷄冠山、此處は、我軍が三度に亘る猛襲を試みて、

殆んど全滅の苦戦に遭遇した處、其の筈である、露軍の築いた保壘の跡を見て吃驚した。

△此の保壘の内部に身を忍ばせて、窓から下を覗けば、裸山の事であるから、鼠一匹登つて來るのを見免さぬ、是れでは流石の我軍も耐つたものではなかつたであらう。

△全く保壘は、要塞堅固を極めたもので、我軍の爲めに破砕された箇所や、數限りない彈痕は當時の激戦の跡を歴々と残して居る。

△殊にその内部で、兩軍の大接戦となり、互ひに刺しちがつて、揉み合つたといはれて居る場所の如きは手流彈の爲めに、夥しく破壊され、壁には、肉塊でも叩き付けたかと思ふ、血の跡が黒く残り、凄愴の氣が漲つて、鬼氣身に迫るを覺えた。

△東鷄冠山の隣りに連る白玉山には、今では、羊腸たる軍用道路が切り開かれて、有難い事には、苦もななく頂上迄自動車飛ばせた其處には戦没者の靈を祭つた、立派な「忠靈塔」が立つて居る、此の塔は、旅順口の閉塞船に積み込んであつた材を、引揚げて建設し

今日の話

まだ小學校に行つてゐる時分からシセロは驚くべき雄辯家であつた、彼が道を歩いてゐると、人々はすぐ彼を中央に圍んで一緒に歩き始める、その状は總督を歓迎するやうであつた、時に感興が湧いて彼が、道の高いところにあがつて演説を始めると群衆はたちまち彼の周圍に集まつて來る、この幼い雄辯家が細い手を徐ろにさしのべて一言述べ始めると群衆はたゞ酔へるが如く聽き惚れてゐた、後年カクチナが奸計を以て羅馬政府を乗取らうとした時敢然と立つたシセロは大雄辯をふるつて奸計を發き、羅馬一國を謀叛者の手から救ふことができた、一辯、社稷を救ふ大雄辯家の幼時は己に上天から命ぜられた約束の存せしことを語つてゐるではないか

江戸前料理 會社

御試食になりましたか錦水の

御重入辨當 金三十錢

是非一度〇注文願います

出前迅速 錦水

新設電話四五四番

ボタン 見物 團體募集

- 一、須賀川ボタン園及び本宮蛇ノ鼻公園
- 一、會費一人參圓 (各自辨當持參の事)
- 一、使用車体 最新型 セダン
- 一期 日 五月十三日より
- 五月廿五日迄毎日 (定員五人に満ちた場合は隨時出發)
- 一、申込所 平町一丁目 三九二タクシー

減俸の波及 深刻に動く

選挙の上に反影

先づ巷の聲を聞け

不景氣時代に加へて政府の官吏減俸整理問題は早やくも今秋の縣議戦に相當の波紋を與ふる模様だが殊に炭礦地として縣下の大郡であり特殊な石城郡では是に民政黨の内訌、政友派の雪辱、無産黨の進出等微妙に絞つて有形無形の反響を地方選挙の上に與へ今から其の結果に就いて政界は百パーセントの興味を煽つてゐる、右に就いて二三巷の聲を聞いてみる

選挙取締りの氣分にも影響

某高等係りが云ふ

石城郡下某署高等係り君曰く、實際減俸となれば選挙取締りにも氣分的に大影響があり與黨側の有利さが何時もの様にはまゐるまい

官憲の意氣も揚がるまいと

無産派方面の觀察

無産派大井川君、社民黨松本支部長等の觀察、今秋の縣議選には取締りに名を藉りて或ひは收穫期の農民陣營に一種のクーデターがあるではないかと思つたが此の分では官憲の意氣からして揚がるまいし周囲の事情

て警戒しなくてはならない
民意を失つて
不景氣を重來
政友部會幹事語る

政友派石城郡部會一幹事語る「反對派のお家騒動などに突入る小策は取らないが民意を失ひ不景氣を重來する減俸案は我黨挽回に渡りに船の福音だ」

官吏間の……

不人氣が大敵

民政俱樂部某氏談

石城郡民政俱樂部某氏談「黨内に内訌があつても恐れはしないが減俸による官吏間の不人氣不景氣加重に伴ふ嫌氣は全く大敵だとして

減俸に次いで……

家賃引下げ運動

何處迄緊縮政策は崇る

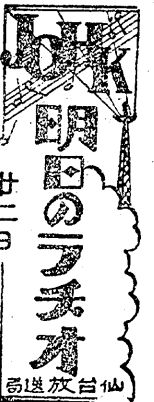
廣範圍の影響

官吏減俸問題は平町地方においても廣範圍の影響があるがこれに關聯して早くも家賃引下げ問題が持ちあがらんとしてゐる即ち石城社民黨支部等においては減俸が決定すれば直にこれが對策を協議するが現在の状態で家賃値下げ運動を起すと云ふとがもつとも至當だといふのである

送湯問題

益々硬化

湯本町の送湯問題はどのような問題が町の死活を制する



明日の天気
今晩は南西の風
曇り明日は北東
の風曇り時々晴

今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間) 漫遊劇「續團子串助漫遊記」結城人形劇場
- 後六、三〇 英語講座「中等科第三講の五」ケイグロス 溝口歌子賛助出演
- 後七、〇〇 全國ニュース 官廳ニュースを含む
- 北新報社ニュース 氣象通報 告知事項 番組預告
- 後七、二五 講演「學生訪歐飛行について」成毛基雄「學生航空の使命」青年日本號正操横士法政大學生栗村盛孝「離陸の歌」法政大學出漁する模様である

平理髮の會合

平理髮組合では本日午前九時から平署に於て縣下理髮業組合大會に出席した比佐會長の報告並に代議員部長の補缺選挙を行つたが部長木村由三郎副部長荒木忠吾の兩氏當選した

生活難の農家荒し

植田の曲者 最近植田町附近の農家を荒す曲者あつたが十九日夜植田署で取押へた右は炭鑛夫茨城縣生れ細員幸一(三三)として生活難から悪心を起したものと判明

無謀な掃立は桑不足を告ぐ

飼育に當つては充分飽食させよ 蠶の掃立は目下最盛期であるが今年の氣温は四月中に例年に比し六度ないし七度低く従つて桑葉の發育もそれだけ遅れてゐる、それに降雨量が少ないため桑葉の養分が充實してゐないので

白船來る

漁民がビツクリ 實は燈臺監視船 十九日午後一時頃小名濱港外に船体を白色に塗つた貨物船とも客船ともつかぬ異様な黒船ならぬ白船が入港し濱の人々を驚かしたがあとで遞信省の燈臺監視船羅州丸二千トンで鹽屋崎燈臺定期監督のため入港したものと判明した

三兒を残して

女房が駈落 双葉郡津島村字矢野渡邊 日三兒を残して情夫の双葉郡津島村字矢野渡邊善一と家出轉々放浪し最近平地方へ入込んだらしいと廿日夫から平署へ搜索方を願出た

文藝募集

日三兒を残して情夫の双葉郡津島村字矢野渡邊善一と家出轉々放浪し最近平地方へ入込んだらしいと廿日夫から平署へ搜索方を願出た



東京橋場納刺

お千代は何時でも事件に會する

お千代は何時でも事件に會する、必ず何かしら直覺を得たものだが、此時は不思議に何の直覺も受けない、自分ながら……只の婦……になつて終つたのなかと疑ふ位、併し小左衛門や妻女のお婆が代りく……すところは少しの……からしもなく……き……た……汗……千……にもお宅で……な……お……ひ……な……つた……事……は……誰……も……知……ら……な……か……つ……た……の……が……、……格……別……世……間……の……上……ら……な……か……つ……た……か……ら……で……せ……う……が……、……マ……ア……何……り……も……飛……ん……だ……事……で……し……た……わ……い……と……い……は……れ……た……。

「イヤ大生は誰かを殺して居ます、何うせ今つら……へたと……で……命……だ……、……直……に……吸……つ……て……三……十……分……間……へ……戻……り……ま……す……か……ら…………」

お千代は斯う云ふより……な……か……つ……た……、……直……に……吸……つ……て……三……十……分……間……へ……戻……り……ま……す……か……ら…………



「ハテナ」
事件毎に夫々考へを持つお千代が、何うしたかとお婆も不思議な顔をした。

「妾は能く考へて見ますよ、お婆さん思つた通りに選んで見て下さいな」

「然るか、ちやア一ツ手を着けて見やう」

安藤は直に丸千の千次を呼びに選つた。

「家に居るものぢやア都合が悪い、是れはお前が種出しも同様にから骨を折つて呉んな」

「ハエ」

「芝口一丁目の杉坂屋の青磁の徳利の一件だが、何れ其んなものかを掴まされるには、家に手引を置いた奴があるに違ひね、第一に杉坂屋のものを、端から洗つて見て呉れ」

「宜うございませう」

千次は歸つた。

三日ばかり立つて其の報告を持つて来た。

は使つて持つて居るもので無し、仕方がありません、然うまで馬鹿にされたと思ふと、愛念で堪まりません、何とか工夫は無いものでせうか」と小左衛門が言ふ。

「此御のお師匠さんの話ではお千代さんは却々大した方で、分かんらなかつた事でも、お婆さんを出し、御用勤める男の方を……山……あるが、お千代さん……い……人……は……な……い……と……話……し……た……事……が……有……り……ま……す……お……婆……さん……一……ツ……考……へ……て……下……さ……い……ま……せ……ん……か……、……五……百……兩……の……金……の……こ……と……は……且……那……と……考……へ……知……つ……て……る……許……り……、……店……の……も……の……に……も……な……か……つ……て……居……る……位……な……の……で……す……、……其……の……内……々……の……話……し……ま……で……お……婆……さん……に……打……明……け……た……の……だ……か……ら……何……ぞ……一……骨……を…………」と……お……婆……も……口……を……添……へ……た……。

けれどもお千代に何等疑念が浮かばない、左様なことを伺つた上は、役目の手前も疑つて置くに成りませぬ、早津家の人も相談しませぬから……」

お千代は斯う云ふより……な……か……つ……た……、……直……に……吸……つ……て……三……十……分……間……へ……戻……り……ま……す……か……ら…………

内科・小兒科・花柳病科

藤沼醫院

入院需應 平町紺屋町 電話五〇七番

貸切の!! 御用命はゼヒ

電話三九五番へ

芹澤自動車商會
タクシ一部
貨物運輸部

移轉開店御披露

柳川 平町田町錦水隣り
御料理 魚榮
蒲焼
出前迅速 電話四二四番

専門 内科一般

住宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

川井内科診療所

醫學士 川井重子
女醫 川井安子
電話一八一番

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病

院醫科 腸胃病 腸性病 腸胃病
七〇一話電 町南平

| | | |
|--------|----|----|
| 食パン | 1斤 | 14 |
| 食パン | 6ケ | 10 |
| クリームパン | | 04 |
| ジャムパン | | 04 |
| パン | | 04 |
| パン | | 04 |
| 甜食 | | 04 |

目丁四平
ヤトモツマ
番四一二話電

耳鼻咽喉科専門

診療科目
耳鼻科、咽喉科、氣管科、食道科
平町南町一(元眞木辯護士跡)

増田耳鼻科醫院

セメント 壁用材料 磐城セメント株式會社
コールタール 代理店 西村屋藥舗
ペンキ塗料
板ガラス 平町二丁目電三

市原醫院

平町田町(電話一一四番)
内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男
入院隨時